

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月5日(水) 13:00~15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校大会議室
- 4 参加者

会長	西津 貴久	岐阜大学 教授	
副会長	安田 洋一郎	本郷自治会 副会長	
委員	伊在井みどり	安江病院 院長	(書面参加)
	伊藤 知子	P T A副会長	
	高木 敏彦	岐阜県教育文化財団 理事長	(書面参加)
	中村 こず枝	岐阜市保健衛生部長兼保健所長	(書面参加)
学校側	石田 達也	校長	
	小野寺 彰	事務部長	
	笠原 常豊	教頭	
	高田 剛	教頭	
	石川 翔太	教務部長	
	北川 英治	生徒指導部長	
	黒井 昌和	進路指導部長	

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 生徒との懇談について(グローバルリーダー養成事業において、科学の甲子園全国大会(総合3位)に出場した生徒及び模擬国連活動で活躍している生徒との懇談)

意見1:科学の甲子園において、活動をする中で一番難しかったことは何か。

⇒私たちが実感したのは、普段はモデル化されたシンプルな課題にばかり取り組んでいたことである。科学の甲子園の課題は複雑な事象を取り扱っており、計算や予測が困難な中、たくさんの試作品を作り、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら取り組んだ。

意見2:模擬国連活動で何を学んだか。

⇒模擬国連の会議では、それぞれの国によって立場が異なり、意見が異なる。全体として、どのようにバランスをとってまとめていくのかが勉強になった。

意見3:果敢に挑戦し、普段得ることのできない体験をし、大きく成長していることを感じる。教科横断的な学びの大切さや様々な立場の人と協働的に学ぶ大切さを実感できたのではないか。これからも人と対話することを大切にし、力を合わせてよりよい未来を切り開いてほしい。

(2) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- 意見1：教育相談において、職員間の引継ぎ等はどうに行っているのか。
⇒職員全体でこまめに情報共有を行っており、スクール相談員やスクールカウンセラーを含め、組織で対応している。
- 意見2：不登校の問題で、教室か家庭かだけではなく、学校内にフリースペースのような生徒の居場所はあるか。
⇒教育相談室の中にある。現状、利用生徒は少ないが、不登校の兆候がある早期段階において、個別の支援を行っていく。
- 意見3：情報モラルに対してどのように取り組んでいるか。
⇒日常での指導のほか、毎年、専門知識を持った講師に依頼し、情報モラル講話を実施している。
- 意見4：登下校に際して、自転車通学の生徒が、徐行や一旦停止をしないことがある。また、雨天時の保護者の送迎で渋滞を引き起こすことがある。
⇒交通事故を引き起こさないよう、様々な場面において、引き続き指導を行う。
- 意見5：学校行事等に地域住民が参加できるように検討してほしい。
- 意見6：今年度導入した、新しい制服の着用状況はどうか。
⇒1年生で20名弱の生徒が着用している。中学校においてブレザー型の制服が増えていくことから、本校でも新しい制服を選択する生徒が増えることが予想される。
- 意見7：生徒から制服等に関する要望はあるか。
⇒生徒からの要望があり、今年度新しい制服を導入している。今後も要望等があれば、校則改定の手続きに則り、保護者や同窓会等から意見もいただきながら進めていく。
- 意見8：探究活動においては、インターネット等で調べさせるだけではなく、教員の負担軽減も考慮しながら、外部の人材にも協力いただき、生徒の資質・能力を育ててほしい。

(3) スクール・ミッションの策定について

- 意見1：岐阜の文化・伝統・歴史・自然など、郷土愛や社会的アイデンティティを育んだ上で、地域や世界で活躍できる人材を育成してほしい。
- 意見2：グローバルな視点を持ちつつ、地元地域で活躍してくれる人材も育ててほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・本校に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。今後の学校経営に生かしていく予定である。
- ・第2回学校運営協議会では、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果を基にして、本校教育活動に対する指導・助言を得る予定である。